



令和9(2027)年度入学者選抜用(全日制課程)

学校(学科)情報

学校名	とちぎけんりつ あしかがこうぎょうこうとうがっこう		所在地 及び アクセス	〒326-0817 栃木県足利市西宮町2908-1 JR足利駅・東武足利市駅から 約2Km(徒歩で約25分)	
	 栃木県立 足利工業高等学校				
課程	生徒数 (R8.5.1現在)	設置学科	電話	0284-21-1318	
全日制課程	376人 男264人 女112人	機械科 電気システム科 産業デザイン科	学校HP	https://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikagakogyo/nc3/ 	
スクール・ミッション	地域社会と連携した実践的なキャリア教育を通して、 地域のものづくり産業を担う工業人を育成する学校				
スクール・ポリシー	<p>【グラデュエーション・ポリシー】</p> <p>本校では、次のような資質・能力を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業界の発展に貢献できる技術力・実践力を育てます。 ・現状を分析し課題を発見する力と、課題解決に必要な思考力・判断力・行動力を育てます。 ・主体性や協調性を高め、他者と協働して取り組む態度を育てます。 <p>【カリキュラム・ポリシー】</p> <p>本校では、次のような教育活動を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会と連携し、勤労観や職業観を養うキャリア教育を推進します。 ・充実した施設・設備やICTを活用し、専門性の高い授業・実習を実施します。 ・工業人に必要とされる教養や社会性を育成する特別活動を実施します。 <p>【アドミッション・ポリシー】</p> <p>本校では、次のような生徒の入学を期待しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業やものづくりに興味があり、専門性を身に付け地域社会に貢献したいと思っている生徒 ・他者への思いやりを持ち、仲間と助け合いながら何事にも積極的に取り組もうとする生徒 ・物事への探究心を持ち、改善や工夫をしようとする生徒 				
その他特記事項	なし				

入試情報（全般）

学力検査と調査書の 評定等の比重	学力検査（学力点）						調査書の評定 （調査書点）	学校独自検査 （独自検査点）
	国語	数学	英語	社会	理科	計		
特色選抜	100	100	100	100	100	500 [39%]	500 [39%]	270 [22%]
一般選抜	100	100	100	100	100	500 [60%]	340 [40%]	—
選抜の手順等	<p>【第1次選抜（特色選抜）】</p> <p>調査書や学校独自検査結果を重視し、学力検査結果も活用して選抜する。</p> <p>「資料の取扱い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己表現シートは、調査書とともに、資格要件の確認及び学校独自検査時の参考資料として用いる。 ・調査書の「特別活動の記録」の「特記事項」及び「その他参考となる諸事項等の記録」は、学校独自検査時の参考資料とし、学校独自検査を通じて見取った内容を踏まえ評価する。 <p>「選抜の手順」</p> <p>○第1次審議</p> <p>学力検査結果、調査書、学校独自検査の合計点数の順位が、第1次選抜（特色選抜）の募集定員80%以内にある者（ただし、定員に満たない場合は受検者の80%以内にある者）で、学校独自検査の評価の観点がいずれも良好以上のもののうちから合格者を選抜する。</p> <p>○第2次審議</p> <p>第1次審議において合格となった者を除く全ての受験者について、全ての検査結果および調査書の点数化されない部分を含む各種資料を十分に勘案し、合格者を決定する。</p> <p>【第2次選抜（一般選抜）】</p> <p>学力検査結果を重視し、調査書等を活用して選抜する。</p> <p>選抜の詳細については、令和9年度栃木県立高等学校入学者選抜実施細則のとおり。</p>							
第2志望の志願等	<p>一般選抜において、機械科、電気システム科、産業デザイン科のなかで第2、第3志望を認める。</p>							
合格者発表	日時	令和9年3月12日（金）午前10時から						
	場所	産業デザイン科棟南側						
	その他	入学予定者説明会を、3月25日（木）8時45分から実施する。						

特色選抜入試情報

特色選抜の割合	35%	
特色選抜資格要件	<p>次のア、イ、ウのいずれかの要件を満たす者。</p> <p>(ア) 産業やものづくりへの興味・関心と夢をもち、本校入学後は専門性を身に付け、将来はその力を発揮して地域社会に貢献する強い意志のある者。</p> <p>(イ) 学校または地域活動においてスポーツや文化活動、生徒会活動などに熱心に取り組む、本校入学後も周囲と協力し合いながら積極的にこれらの活動を継続して行う強い意志のある者。</p> <p>(ウ) 中学時代に、探究活動や各種のコンテスト等に参加するために継続して取り組んだ経験を有し、本校入学後も積極的に挑戦する強い意志のある者。</p>	
自己表現シートの学校独自質問	<p>志望する学科で、とくに力を入れて取り組みたいことは何ですか。その内容を具体的に書きなさい。(プレゼンテーションの内容を記入してもよい)</p>	
選抜の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学力検査 <ul style="list-style-type: none"> ※一般選抜で実施する学力検査をもってこれに代える。 ・学校独自検査「プレゼンテーション」 <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションでは、「自己表現シート」を活用する。また、タブレット等を使用し、資料や作品を提示しながらプレゼンテーションをしてもよい。 ・調査書では表現できない力をアピールする場として、作品等の持ち込みを推奨する。 ・自己表現シートは、ある程度プレゼンテーションを展開しやすいように配慮した項目を掲げたものを提示する。 ・入退出を含め10分程度とする(自己表現5分程度、残り時間は質疑応答)。 	
提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ・入学願書 ・調査書 ・自己表現シート ・その他必要な書類 	
検査当日の日程	2月25日(木)、26日(金) ※26日は実施しない場合もある	備考
	受付	8:30～
	諸連絡等	8:50～
	プレゼンテーション	9:15～
検査当日の必携品	<p>令和9年度栃木県立高等学校入学者選抜実施細則に定められたもののほか、プレゼンテーションに必要なタブレット、作品などを持参すること。</p> <p>電子黒板の使用は可能であるが、タブレット等はHDMIコネクタ(タイプAコネクタ)に接続できるものとする。なお、接続等に関しては受検生が自ら行う。</p>	
検査実施に係るその他の事項	<p>携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の小さな通信端末機器の持ち込みは禁止する。</p>	

一般選抜入試情報

選抜の方法	学力検査	
提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学願書 ・ 調査書 ・ その他必要な書類 	
検査当日の日程	2月24日(水)	備考
	学力検査日の受付、学力検査時間については、入学者選抜実施細則のとおり。	海外帰国者、外国人等の措置を受ける場合には、日程を別途連絡する。
傾斜配点		
検査当日の必携品	令和9年度栃木県立高等学校入学者選抜実施細則のとおり。	
検査実施に係る その他の事項	携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・タブレット等の通信端末機器の持ち込みは禁止する。	

【別表1】学校独自検査の評価表

評価の観点				
ア 資格要件①	イ 資格要件②	ウ 資格要件③	エ 構成・表現・資料活用	オ 質疑応答
評価規準				
産業・ものづくりへの興味・関心と将来展望	協働性・活動への主体的な取り組み	探究活動・挑戦経験	プレゼンテーション力	思考力と主体性
評価基準				
「優秀であると評価できる」状況 興味の背景・経験・学び・将来像が一貫し、地域貢献の意欲も明確で説得力が高い。	「優秀であると評価できる」状況 活動内容・役割・工夫・協力の実例が非常に具体的で、継続性・主体性が高い。	「優秀であると評価できる」状況 探究テーマ・目的・過程・成果が明確で、継続性と学びの深まりが高い。	「優秀であると評価できる」状況 構成が明確で論理的。声・姿勢・視線・資料提示が効果的で、時間内に要点が整理されている。	「優秀であると評価できる」状況 質問に対して自分の言葉で論理的に回答し、思考の深まりと主体性が明確。想定外の質問にも柔軟に対応。
「良好であると評価できる」状況 興味や将来像が具体的で、本校の学びとの関連も十分に説明できている。	「良好であると評価できる」状況 活動実績が豊富で、協働の姿勢も具体的に説明されている。	「良好であると評価できる」状況 探究や挑戦経験が具体的で、取り組みの意義も十分に説明されている。	「良好であると評価できる」状況 概ねわかりやすく、構成や表現も安定している。資料の使い方も適切。	「良好であると評価できる」状況 質問に適切に答え、内容理解も十分。主体性も感じられる。
「適性があると評価できる」状況 興味や将来像は述べられており、関連性も概ね理解できる。	「適性があると評価できる」状況 活動実績は十分で、協働の姿勢も概ね理解できる。	「適性があると評価できる」状況 探究や挑戦経験は説明されており、取り組みの意義も概ね理解できる。	「適性があると評価できる」状況 内容は伝わるが、構成や表現に改善の余地がある。	「適性があると評価できる」状況 質問には答えているが、深まりはやや弱い。
「適性がないと評価できる」状況 興味は述べているが抽象的で、経験や将来像とのつながりが弱い。	「適性がないと評価できる」状況 活動の羅列にとどまり、主体性や協働の具体性が乏しい。	「適性がないと評価できる」状況 単発の参加や表面的な説明にとどまり、継続性や学びが弱い。	「適性がないと評価できる」状況 構成が不明瞭、説明が冗長、資料の使い方が不十分。	「適性がないと評価できる」状況 準備した内容の繰り返しが多く、柔軟性が乏しい。
独自検査点の算出方法				
それぞれの観点について、4段階で段階評価する。				
3人の評価者の段階評価から総合したものを基に、270点満点で独自検査点を算出する。				